

第69号議案

府中市市税条例の一部を改正する条例

上記の議案を提出する。

令和 2 年 8 月 3 1 日

提出者 府中市長 高 野 律 雄

(説明)

地方税法（昭和25年法律第226号）の一部改正に伴い、所要の改正を行う
ものであります。

府中市市税条例の一部を改正する条例

第1条 府中市市税条例（昭和29年5月府中市条例第14号）の一部を次のように改正する。

付則第8条中「法附則第15条から第15条の3の2までの規定」を「法附則第15条から第15条の3の2まで、第61条又は第62条の規定」に、「又は法附則第15条から第15条の3の2まで」を「又は附則第15条から第15条の3の2まで、第61条若しくは第62条」に改める。

付則第8条の2に次の1項を加える。

16 法附則第62条に規定する先端設備等に該当する事業の用に供する家屋及び構築物に係る固定資産税の課税標準となるべき価格に乗じる条例で定める割合は、零とする。

付則第13条の3中「令和2年9月30日」を「令和3年3月31日」に改める。

付則に次の1条を加える。

（新型コロナウイルス感染症等に係る徴収猶予の特例に係る手続等）

第21条 第9条第7項の規定は、法附則第59条第3項において準用する法第15条の2第8項に規定する条例で定める期間について準用する。

第2条 府中市市税条例の一部を次のように改正する。

付則第8条中「第61条又は第62条」を「第63条又は第64条」に、「第61条若しくは第62条」を「第63条若しくは第64条」に改める。

付則第8条の2第16項中「附則第62条」を「附則第64条」に改める。

付則に次の2条を加える。

（新型コロナウイルス感染症等に係る寄附金税額控除の特例）

第22条 所得割の納税義務者が、新型コロナウイルス感染症等の影響に対応するための国税関係法律の臨時特例に関する法律（令和2年法律第25号。次条において「新型コロナウイルス感染症特例法」という。）第5条第4項に規定する指定行事のうち、市長が指定するものの中止若しくは延期又はその規模の縮小により生じた当該指定行事の入場料金、参加料金その他の対価の

払戻しを請求する権利の全部又は一部の放棄を同条第1項に規定する指定期間内にした場合には、当該納税義務者がその放棄をした日の属する年中に法附則第60条第4項に規定する市町村放棄払戻請求権相当額の法第314条の7第1項第3号に掲げる寄附金を支出したものとみなして、第35条の6の規定を適用する。

(新型コロナウイルス感染症等に係る住宅借入金等特別税額控除の特例)

第23条 所得割の納税義務者が前年分の所得税につき新型コロナウイルス感染症特例法第6条第4項の規定の適用を受けた場合における付則第5条の3の2第1項の規定の適用については、同項中「令和15年度」とあるのは、「令和16年度」とする。

付 則

この条例は、公布の日から施行する。ただし、第2条の規定は、令和3年1月1日から施行する。